

ひょうご

2007.1

第19号

職親会だより

※職親会（兵庫県精神保健職親会）は、精神障害者の就労を支援する事業主の会です。

目次

報告1

平成18年度就労支援研修会 P 1

平成18年度職親会総会 P 5

報告2

平成18年度全国精神障害者
社会適応訓練事業研修会～宮城大会～ P 7

お知らせコーナー…川西地域研修会のお知らせ P 8



平成
18年度

就労支援研修会

今年度は、平成18年7月26日に、兵庫県こころのケアセンター（神戸市）において、定期総会の前に、「精神障害者の就労支援の実際～兵庫障害者職業センターの取り組み～」と題して、兵庫障害者職業センターの障害者職業カウンセラーの田中章夫氏、大崎伸子氏にご講演いただきました。

当日は次ページ以下の配布資料（抜粋）にあるとおり、支援者が就労支援を行う際のポイントや、精神障害者を事業所に受け入れる場合の事業所側の工夫などについて、具体的でたいへんわかりやすいお話をいただきました。参考までに、是非ご高覧下さい。

平成18年度のこの研修は、精神障害者の「地域就業支援講座」として、障害者の就業支援の専門機関である兵庫障害者職業センターと、本職親会との共催で開催しました。

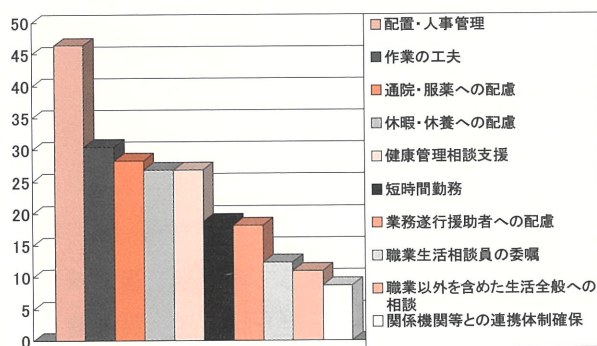
当日は、主催者として兵庫障害者職業センターの三柳則雄所長様からも研修会開催のごあいさつをいただきました。



～講 義～ ①

田中章夫氏からは、①精神障害者の雇用を巡る動向、②精神障害者の就労支援、③就労支援のための今後の課題について、精神障害者の雇用状況、全国の障害者実態調査の結果、障害者雇用促進法の改正内容など踏まえて、たいへん有意義なお話をいただきました。

企業が行っている精神障害者の雇用上の配慮事項



精神障害者にとっての就労とは

～病気がどのような段階になれば雇用が可能？～

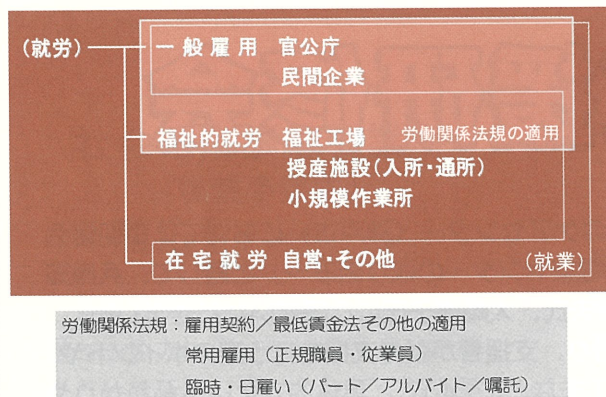
○事業主の挙げるポイント

- ✓「定期的に通院し、服薬の重要性を認識している」
- ✓「幻覚・妄想などの症状が目立たない」
- ✓「働く意欲がある」
- ✓「一人で生活できる」
- ✓「『障害を受け入れようとしている』」

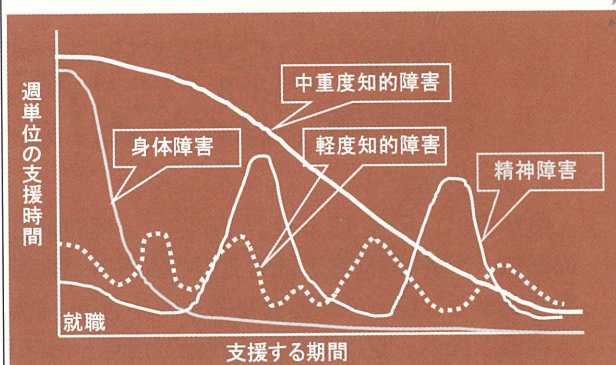
○就労支援機関関係者の挙げるポイント

- ✓「睡眠・食欲が良好」
- ✓「生活のリズムが整っている」
- ✓「病気や職業生活の相談が出来る人がある」
- ✓「不調の才に助けを求めることが出来る」

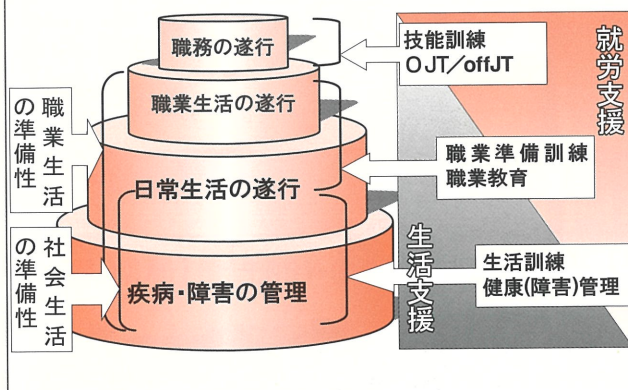
「働く」とは？ ～さまざまな就労形態～



障害の違いと就労支援の必要度



個人特性の階層構造と支援



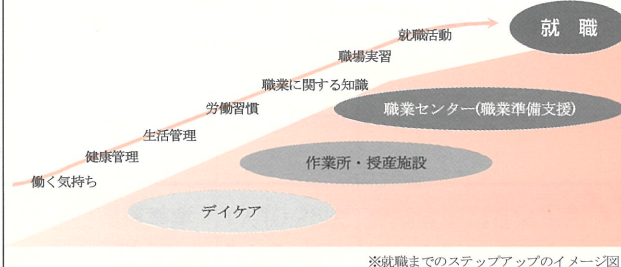
医療・福祉と雇用との連結

- ・社会復帰施設と企業との中間的・過渡的な就労の場
- ・グループ就労を活用した精神障害者の雇用促進モデル事業
- ・施設外授産事業の推進
- ・地域雇用支援ネットワークによる精神障害者職業自立支援事業
- ・医療機関等と連携した精神障害者のジョブガイダンス事業
- ・「社会適応訓練」対象者と「トライアル雇用」との連動
- ・「障害者雇用納付金制度に基づく助成金」の支給の促進
- ・「精神障害者社会復帰施設」の利用制度を活用した、医療・福祉の場と雇用の場との双方向の移行システムの確立

～講 義～②

大崎伸子氏からは、兵庫障害者職業センターにおける精神障害者への就労支援の取り組みについて、①職業準備支援事業（職業準備カリキュラム、自立支援カリキュラムなど）、②ジョブコーチ事業、③リワーク事業（主にうつ病の方の職場復帰支援）を中心にお話いただきました。資料の後半は、地域でも特に今後ますます必要と思われるジョブコーチの説明資料について1部のみ掲載させていただきます。

職業リハビリテーションへの移行



求職活動前の確認

- ・就業時間（体調を維持しながら働ける時間の確認）
- ・賃金（終業時間、仕事の難易度、最低賃金から考える）
- ・希望職種
- ・勤務地
- ・障害の開示（オープンでのメリットやデメリット）
- ・援護制度の活用（トライアル雇用、ジョブコーチ支援、助成金等）



仕事を探す

求職者にとっては、事業所数の不足が最大の課題となっており、求職活動は長期化することも予想されます。

＊ハローワーク（障害者窓口）の利用

- ・継続的に通うこと（例：週に1回）
- ・職業センターの面接の同行（障害開示の場合）
- ・2, 3度ではなかなか決まらないことを支援する

＊就職準備セミナーへ参加

- ・職業センターにて実施（月1回程度）
- ・面接の受け方、求人検索の仕方など就職に必要なスキルの習得
- ・求職活動状況の確認、就職意欲の維持、JCとのラポール形成

～就労を目指す上で大切なこと～

- ◆ 自分を知ること
：作業所、職業準備支援での準備段階
- ◆ 相手（事業所、作業内容）を知ること
：求職活動、面接、職場実習
- ◆ こまめに相談すること（悩みを溜めない）
：就職後

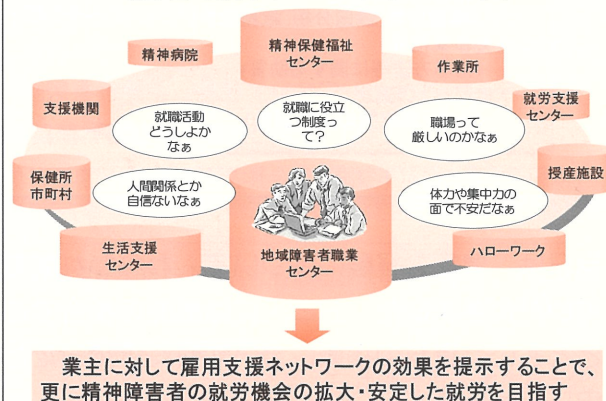
精神に障害のある人への就業支援のあり方

■ 医療・生活・雇用が一体となった支援

ネットワークによる支援体制

- 多様な働き方への理解と支援
- 事業主へのアプローチ
（障害理解の促進・雇用管理支援）

雇用支援ネットワークイメージ図



～講 義～ ② つづき ジョブコーチ(JC)とは？

ジョブコーチ(JC)とは？

- 援助付き雇用(Supported Employment)
- 1986年に米国で、リハビリテーション法に新たに規定された就労支援サービス
- ジョブコーチ(JC)が事業所で直接職場適応のための人的支援を実施
- H14. 5「障害者の雇用の促進等に関する法律」の改正により、国の事業として規定。
- 全国の障害者職業センターで実施。
- 実際の事業所で直接的に支援を行うのが特徴。

対象となる事業所とは？

- 障害者をこれから雇用しようとしている、あるいはすでに雇用していてジョブコーチによる支援を希望している。
- 原則として、労災保険、雇用保険等に参加している
- 15時間以上20時間未満の短時間就労でも利用可。



対象となる障害者は？

- 手帳の有無や障害の種別は問いません
- 求職者、在職者ともご利用いただけます。
- ジョブコーチが職場に入ることを了解いただくことが前提となります。



ジョブコーチの支援内容①

障害者に対する支援

- ★ 人間関係の形成、職場でのコミュニケーション(挨拶、言葉遣い、報告、集団参加等)
- ★ 職務遂行(作業手順の理解、生産性の向上)
- ★ 支援ツールの作成(作業指示書、マニュアル、作業チェック表等)
- ★ 通勤指導(交通機関の利用、緊急時の連絡) etc

ジョブコーチの支援内容②

企業に対する支援

- ★ 障害の理解促進(障害特性と対応に関する説明・助言)
- ★ 職務内容の設定(職務分析、課題分析、職務設計)
- ★ 作業指導(指導方法等に関する助言)
- ★ 家族との連携(企業・家族間の連絡調整) etc

ジョブコーチの支援内容③

家族に対する支援

- ★ 障害の理解促進(障害特性と対応に関する説明・助言)
- ★ 企業との連携(企業・家族間の連絡調整) etc

当日は、豊富な経験に基づいて、われわれ就労支援関係者にとってたいへん参考になるお話を聴かせていただきました。お二人には紙面の都合でごく一部の資料しかご紹介できないことをお詫びしますとともに、資料の掲載について快く承諾いただきましたことを、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

平成18年度職親会総会

[共催あいさつ]

★兵庫障害者職業センター

所長 三柳 則雄 様

[来賓祝辞]

★兵庫県健康生活部

部長 中瀬 憲一 様

★神戸市こころの健康センター

所長 柿本 裕一 様

○平成17年度事業報告

事業名	年月日	場 所	内 容
1. 総会・講演会	17. 5.24(火)	こころのケアセンター 大研修室	*事業報告及び事業計画 *講演 「新時代の社会参加『働く生活』の実現に向けて」 西南学院大学 教授 舘 暁夫 参加者119名
2. 社会復帰事業 関係者及び 職親合同 研修会 (地域限定)	17.10.25(火)	豊岡健康福祉事務所	*講演 「精神障害者の就労支援について」 講師：社会就労センター（創）C.A.C 北岡 祐子氏 「働くこと～当事者の立場から～」 清水 隆之氏 参加者35名
	18. 2.22(木)	西脇健康福祉事務所	*講演 「障害者と一緒に働いた11年を振り返って」 講師：S.G.U 社長 後藤 悦司氏 *情報交換 職親、障害者職業センター、地域関係者など 参加者21名
3. 役員会及び 全国大会実行委員会	17. 4.22(金)	県民会館 会議室	議題「活動結果及び今年度の活動について」 「全国大会の報告」 (11名)
4. 広報普及	17.10 18. 3 随 時	●ひょうご職親会だより 第17号 3,000部 発行・配布 ●〃 第18号 3,000部 〃 ●リーフレット「手伝って下さい！職場への第1歩」	
5. 他機関との 連携・協力	17. 4.16(土)	新神戸オリエンタル ホテル	兵庫県精神病院協会創立50周年祝賀会（会長）
	17. 5.30(月)	ひょうご女性会館	第1回障害者雇用・就業ネットワーク会議（事務局1名）
	17. 6.23(金)	グリーンアリーナ神戸	第2回兵庫県精神障害者スポーツ大会 後援
	17. 8.18(木) ～19(金)	神戸ファッション マート	第10回チャレンジド・ジャパン・フォーラム2005 (事務局2名)
	17.10. 4(火)	兵庫県農業共済会館	第2回障害者雇用・就業ネットワーク会議（事務局1名）
	17.11. 1(火)		兵庫県精神保健福祉審議会就任（会長）
	18. 2.17(金)	長崎県時津町	平成17年度西彼保健所管内社会適応訓練事業協力事業所懇話会 (会長)
6. 全国職親会 への協力	17. 8.25(火) ～26(金)	ホテルグリーンタワー 千葉	平成17年度全国精神障害者社会適応訓練事業研修会 千葉大会 (会長・事務局1名)
	18. 3.17(金) ～18(土)	東京都NHK青山荘 センター	第17回全国精神職親研究会 (会長・石井副会長・事務局1名)

- (参考) ● 兵庫県精神保健職親会会員 58 事業所
 ● 〃 賛助会員 125 人
 ● 通院患者リハビリテーション事業協力事業所数 290 事業所

内 訳

	事業所数（稼働事業所数）	職親会員数	訓練生数
兵 庫 県	248 (50)	46	121
神 戸 市	42 (11)	12	18
計	290 (61)	58	139

(平成 18 年度 3 月 31 日現在)

平成18年度事業計画(案)

- ① 定期総会及び講演会 (平成 18 年 7 月 26 日(水))
- ② 研修会の開催 (年 2 ～ 3 回)
 地域を限定した職親交流会の開催
 豊岡地域、加古川地域、淡路地域等での研修
 神戸市センターとの共催で社会復帰関係者研修会 (於：神戸市)
- ③ 役員会の開催 (年 2 回)
- ④ 広報普及・情報提供 ひょうご職親会だより発行
- ⑤ 全国職親会、NPO 法人全国精神障害者就労支援事業所連合会への参加並びに連携
- ⑥ 会員の拡充
- ⑦ 各種関係機関との連携・協力
- ⑧ その他

この度、西脇地域で社会適応訓練事業の事業主（職親）として、障害者の就労支援に熱心に取り組まれている（株）エス・ジー・ユーの後藤 悦司氏に新しく理事に加わっていただくことになり、総会で会員の皆様にも御了承をいただきました。

兵庫県精神保健職親会役員（平成 18 年度）



● 兵庫県精神保健職親会役員（平成18年度）

役 職	氏 名	事 業 所 名	役 職	氏 名	事 業 所 名
会 長	森本 稔	森本鐵工(株)	理 事	高嶋 秀忠	高嶋園芸
副 会 長	西村稜威雄	西村商店	〃	上川 雄吾	(株)金森商店
〃	石井 建三	(株)エルゼ神戸	監 事	福井 護	(株)福井電機
理 事	米口 守	(有)米口グリーンナーサリー	〃	鳥居 嘉夫	(有)なかや
〃	細見 勝	伸和青果食品(株)	(新) 理 事	後藤 悦司	(株)エス・ジー・ユー

社会適応訓練事業研修会 宮城大会

平成 18 年 9 月 8 日から 9 日にかけて、松島湾を臨む宮城県の「ホテル松島大観荘」において全国精神障害者社会適応訓練事業研修会が盛大に開催されました。

1 日目は、長年にわたり精神障害者の社会復帰や就労支援に功績のあった 3 事業所の表彰のあと、厚労省等関係者から「障害者自立支援法」「障害者雇用促進法と雇用支援策」等の講演、さらには、宮城県内の社適事業で訓練中の当事者の方と事業主の方とのペアでの活動報告がありました。

活動報告の中で、どの事業所の方からも「共に働く仲間として対等な関係にあります。」との発言が印象的でした。“障害者を理解し支援をする”ということを超えた関わりの中で当事者の方も自信と誇りを持って働かれていました。

2 日目は西南大学の舘暁夫教授から「福祉就労から一般就労へ～精神障害のある人の就業支援～」と題しての講演と、山形障害者職業センターの相澤欽一所長を座長に「どう高める訓練から雇用への支援！」をテーマにシンポジウムが行われました。

2 日間の研修から社会適応訓練事業の今後の課題等についてまとめてみました。

兵庫県においても今後の本事業のあり方等について検討の必要性を感じています。

社会復帰適応訓練事業（社適）について

精神障害者が働ける前提には、良い職場と良い支援がいる。保健（医療）、福祉、労働の 3 方向の支援施策がうまくかみ合う必要がある。

現 状

- 自立支援法が施行されたが、社適事業は精神保健福祉法に位置付けられていることは意義深いこと
- 平成 15 年一般財源化されてから、実績 2 割減、利用者数や日数制限が加わったところが多い。
利用者は全国で 40 倍のひらきがある。
- 自治体の意向が鍵になる。

問 題

- 支援のマンパワーの不足。保健師に任せればなしである。
- 医療を踏まえた生活支援と就業支援が長期的に必要
- 協力事業所の不足と開拓の困難さがある。→ハローワークの協力とジョブコーチつきが理想。
- 雇用につながる制度、訓練手当が必要
- 多様な働き方必要→ピアサポートの活用や短時間、在宅、グループ等の就労も…
- ひとりひとりにケアマネジメントが必要

今 後

- 地域の問題として市町中心の取り組みの推進。
- 就業支援センターの設立。（就労・生活支援センターとの協働）
- 医療保健福祉関係者の偏見、働けないとの思いこみをなくす
- 行政の縦割り施策や支援の改善



*全国精神保健職親会連合会は19年4月1日からNPO法人全国精神障害者就労支援事業所として一本化されることになりました。

*来年の全国大会は岡山県で開催される予定です。

お知らせコーナー

平成18年度地域精神障害者就労支援研修会を開催します。

- **日 時** 平成19年1月20日 2時～4時
- **場 所** 川西市総合センター〈阪急宝塚線 川西能瀬口駅下車 北へ500m（徒歩7分）〉
- **テーマ** 精神障害者の働きたいを実現するために
～就労を目指す精神障害者に企業が求めているものは何か～
- **講 義** ①事業主の立場から
兵庫県精神保健職親会 会長 社会適応訓練事業 事業主（職親）
森本鐵工代表取締役社長 森本 稔
②支援者の立場から
神戸公共職業安定所 精神障害者ジョブガイダンスコーディネイター
貞丸 けい子
- **対象者** 当事者、ご家族、支援関係職員、事業所の方など
- **参加費** 無 料（当日、会場へ直接、お越し下さい）
- **問い合わせ先**：社会福祉法人 むぎのめ 小規模授産施設 むぎのめ作業所
電話 072-755-2663（FAX 共通）

…地域での研修会を、今年は、社会福祉法人むぎのめと当職親会で共催で開催します。
1人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

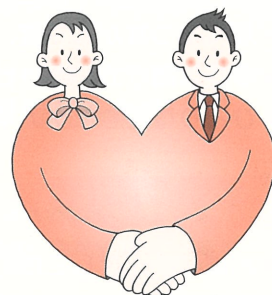
社会適応訓練事業所 （職親事業主） 開拓キャンペーン

兵庫県精神保健職親会では、兵庫県とも協力して、精神障害者を訓練生として新たに受け入れてくれる事業所を探しています。協力していただけたような事業所があれば、当事務局まで御一報下さい。当会の役員が訓練を受け入れている事業主の立場から、社会適応訓練事業（職親事業）について、地域に出向いて説明させていただきます。

兵庫県精神保健職親会 会員 及び 賛助会員 募集中

会 員（社適事業所に限る。年会費3,000円）と、
賛助会員（任意の個人又は団体。年会費1,000円）を募集しております。

既に県内の事業主（59）、保健師、家族会、作業所、社会復帰施設、精神科診療所、病院、PSWなど関係者の方々（132）が、すでに団体や個人で会員になっていただいています。お問い合わせや、ご賛同いただける場合は、下記事務局までご連絡下さい。



【事務局】 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-3-2
兵庫県精神保健職親会（県立精神保健福祉センター内）
Tel:078-252-4980 Fax:078-252-4981

*この「職親会だより」は、兵庫県からの委託により作成しております。